



2020 ~ 2021 年度  
R I テーマ

# Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク (国籍・ドイツ)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ トキハ別府店7F 〒874-8558 別府市北浜2丁目9番1号  
TEL (0977) 23-1111 FAX 26-3123  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 平野 教康 理事 森 宗明 役員 会長 西馬 良和 会計 安部真一郎  
〃 高宮 勝美 〃 竹下 一枝 副会長 森園 伸也 SAA 梅津 圭二  
幹事 梶原 和朗

VOL. 33 - 5  
2020年9月15日

## 第1462回例会

会報担当 森 宗明

◆点 鐘 12:30

◆R S 別府中央R.C.の歌

◆唱 歌 七つの子

◆ビジター 片山 勇  
(2720Japan O.K.ロータリーEクラブ)

### ◆出席報告

平野 教康

本日 の 出 席	会 員 総 数	23 名
	出 席 者	13 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	3 名
出 席	欠 席 数	7 名
	出 席 率	65.00 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	70.58 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	5 名
	修 正 出 席 率	70.58 %

連 続 一 回  
通 算 751 回 100 %

### 会長の時間

平野 教康

皆さん、こんにちは。元ガバナー補佐の平野教康です。本日は西馬会長が欠席ですので私が話をさせていただきます。

コロナの影響で厳しい経営をされてる企業が沢山います。日田地域では中小企業の方達が関係しながら地産地消(異業種)が合い言葉に頑張っておられます。別府中央ロータリークラブにおいても同じ事が言えてます。クラブ内でお互いの会社を利用していただきまして、この難関を乗り越えましょう。また、本日卓話をされる佐藤豊和様には自己紹介等も含めて楽しみにしています。

限られた時間ですが皆さん楽しみましょう。

### ・メイクアップ

事前  
事後  
欠席 安部、梶原、中尾、森園、竹下、秋吉、西馬  
理事会承認  
出席免除 鳴海、溝部、大島



幹事報告

梶原 和朗

一基本的教育と識字率向上月間一

1. 本日の卓話

「新会員卓話」佐藤 豊和 会員

2. 第3回理事・役員会」報告

(令和2年9月1日(火) 例会終了後～

於：ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ例会場 5名)

報告事項

1) 赤山武興パストガバナーの訃報対応の件。RI第2720地区 P G (2013-2014年度) 赤山武興氏の訃報に際し、P G 逝去の前例に基づき、下記のとおりに対応させていただきました。

香典 40,000円 (各クラブ10,000円) ※尚、香典は喪主のご令嬢様宛に現金書留にてご自宅へお届け致しました。

供花 1本 (各クラブ5,500円=22,000円税込) ※うめづ生花店に依頼

弔電 アイデンポウドットコム (各クラブごと1,650円)

審議事項

1) 第37回別府近隣ソフトボール大会について。 ※今年はクラブとしては不参加。

確認事項

1) 9月・10月例会予定の確認。

9月1日 「Zoomの利用方法について」 安部眞一郎会員

8日 「例会はありません。」

15日 「新会員卓話」 12:30～ 於：インターコンチネンタル

22日 「法定休日(秋分の日)の為休会」

29日 「例会はありません。」

10月6日 「 」 12:30～ 於：インターコンチネンタル

13日 「例会はありません。」

20日 「 」 12:30～ 於：インターコンチネンタル

3. 職業奉仕ハイブリッドセミナー開催のご案内

日時 令和2年11月21日(土) 14:00～16:00 (受付開始13:30～)

会場 ①熊本会場 熊本城ホール

熊本市中央区桜町3-40

②大分会場 コンパルホール

大分市府内町1丁目5-38

③ZOOM等オンライン会場

別途メールにてご案内

講師予定者 熊本会場…永田壮一パストガバナー 大分会場…木下光一パストガバナー

出席対象者 職業奉仕委員長・ほか希望者・地区役員(任意)

申込期日 10月30日(金)

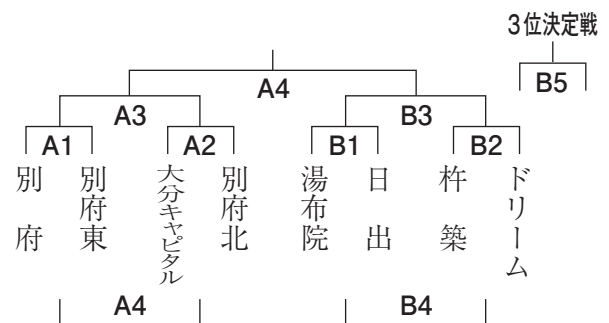
4. 第37回別府近隣7RC親睦ソフトボール大会のご案内

開催日 令和2年10月17日(土) ※少雨決行

開催場所 別府野口原ソフトボールグラウンド

集合時間 午前8時30分/開会式 午前9時～ /試合時刻 午前9時半

ホスト 別府ロータリークラブ ※今回、クラブとしての出場は無し。



<A1>別府一別府東 9:30~10:20 <B1>湯布院一日出  
 <A2>別府北 10:30~11:20 <B2>杵築一ドリーム  
 <A3> 12:20~13:10 <B3>  
 <A4> 13:20~14:10  
 <A5> 決勝戦 14:20~ 3位決定戦

5. 9月4日(金) 14:30～両築別邸に於いて「第37回別府近隣7RC親睦ソフトボール大会第2回監督会議が開催され、亀井孝会員が出席致しました。

6. お祝い

会員誕生日 大島由美子会員 (9月23日) ※ご自宅に記念品をお送りします。

結婚記念日 安部眞一郎会員 (10月1日)

配偶者誕生日 中尾百合子さん (9月19日) 佐々木景子さん (9月19日)

※記念品をお渡し致します。 梅津 麻美さん (10月1日)

※記念品をお渡し致します。



皆 勤 安部眞一郎会員（9月3日＝1年）  
※記念品をお渡しいたします。  
村津 忠久会員（9月12日＝34年）

スマイルボックス 担当 亀井 孝

7. 例会変更のお知らせ

- 別府東RC 9月24日（木）の例会は、観月会の為、同日（時間・場所未定）に変更
- 大分臨海RC 9月21日（月）の例会は、
- 大分1985RC 9月21日（月）の例会は、
- 大分城西RC 9月23日（水）の例会は、
- 大分東RC 9月24日（木）の例会は、
- 別府RC 9月25日（金）の例会は、
- 津久見RC 9月29日（火）の例会は、例会場の都合により、同日12：30～津久見商工会議所3F大会議室に場所変更
- 湯布院RC 9月29日（火）の例会は、早朝例会の為、同日6：30～総合グラウンドに時間・場所変更
- 竹田RC 9月29日（火）の例会は、定款第7条第1条により休会
- 大分中央RC 9月29日（火）の例会は、定款第7条第1条により休会
- 大分南RC 10月2日（金）の例会は、オンライン例会の為、同日12：00～12：40トキハ会館4Fにてサイン受付
- 大分1985RC 10月5日（月）の例会は、例会変更の為、同日12：00～12：40トキハ会館4Fにてサイン受付
- 大分臨海RC 10月5日（月）の例会は、定款第7条第1条により休会
- 大分東RC 10月8日（木）の例会は、例会変更の為、同日12：00～12：40トキハ会館4Fにてサイン受付

定款第7条第1により休会

8. 次回例会の予定（10月6日（火））  
「           」

9. 本日の配布

① 週報 No1460

○河村会員

自民党新総裁に菅氏が決まり、コロナをはね返し明るい日本の復活を期待したいですね。

○平野(英)会員

佐藤会員、今日は卓話よろしく願いいたします。

○村津会員

森会員御夫妻が、奥様の御父上と三人協同で「大分県の民話 総集編」を出版されました。

9月9日の大分合同新聞に大きく写真入りで報道されています。

楽しみに読みたいと思います。

○森会員

会員の皆様へ。

例会の回数が減ってから、週報の原稿入稿がととても遅れています。

週報の目的はクラブの記録を残すことです。

出来る限り正確に残すには原稿を早く頂くことがとても大切な条件になります。

例会の実施された週内、金曜日までに原稿を頂きたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

○高宮会員

佐藤会員、入会おめでとう。卓話を楽しみにしています。

○梅津会員

2週間のご無沙汰でした。今日もよろしくお願ひします。

○佐藤会員

コロナに負けず笑顔で日々過ごしましょう。エンジョイ。

○平野(教)会員

コロナに負けず頑張りましょう。佐藤豊和様、卓話楽しみにしています。



## 卓 話

## 佐藤 豊和

## 「新会員卓話」

本日は、わたくし（佐藤豊和）の自己紹介と最近の金融機関の状況について少しお話ができればと考えております。



1965年（昭和40年）別府市生まれ。29歳まで天満町の実家に居住。

29歳の時に北九州支店に転勤、翌年に結婚。北九州に5年勤務する間に子供が2人生まれ北九州で人生の中での大きな行事をかなり経験。

その後、大分、福岡、大分、宇佐と転勤を繰り返して現在は大分市内のアパートに妻と長女の家族3人で居住。長男が東京の大学に行っており来春は大分に戻ってくるので4人になる予定。

私は今回の異動で別府支店勤務となったため平日は別府の実家から通っている。

幼少期から学校を卒業するまでを振り返ると、野口中町にあった「さくらんぼ保育園」をスタートに「境川幼稚園」「境川小学校」「青山中学」「鶴見丘高校」「大分大学」と学生時代を地元別府・大分で過ごす。

保育園の時の記憶は、野口洋子先生の名前と顔、カレーが美味しかったことを覚えています。

幼稚園のときの記憶は全くない。よっぽど思い出したくないことがあったのか分からないが本当に思い出さない。

小学生時代は「天満の神童」と言われる位勉強ができてスポーツも頑張る子供という評価。

学校のスポーツ少年団で野球をしながら書道、そろばん、5教科の塾に自らの意思で通う。テストで百点が取れないと悔しくてまた勉強するという真面目な少年。

学校でひとり選ばれる健康優良児の最後の二人に選ばれながら、虫歯が多かったため落選。可哀想だからと青山中学の入学式の時に「誓いの言葉」を発表させてもらう位のスーパー小学生。

中学生になっても、部活動はバスケットボール部に入りながら、クラシックギターを習い、その当時では珍しいタイプライターを使いながらの英語塾に通うなど勉強も相変わらず頑張る少年で、テストでは学年400人中平均で20位くらいの成績。

それもあってか鶴見丘高校に入学した時はいきなり学級委員長スタートと相変わらずの優等生ぶ

りを発揮。

そんな優等生も教育ママであった母親から、高校に入ったら勉強も大変になるので部活は禁止と言われ反抗、色気づいて女性を気にするようになったことも影響があっただけか、成績は見る見る低下し、気がつけば400人中300位くらいにまでなってしまう。

さすがにこれではまずいと気が付いたのは高校3年の夏休みが終わってからで、勉強をするようにはなったが、小中学校のときのように行かず、大学入試の頃によく100位以内に入るくらいにしか回復せず。

熊大法学部狙いで共通一時試験（今のセンター試験）を受けたが、残念ながら大分大学経済学部がやっとの結果となった。

結果として親も地元に残るということでは喜んでくれ後悔はなし。

私の父親は佐伯市の出身で自衛官、母親も佐伯の奥の鶴見町の漁師の網元の出身で別府に出てきたからは永年化粧品販売をしていた。

その父親も今年の6月17日の夜中に硬膜化出血で病院に運ばれ、一命は取り止め現在は左半身マヒのリハビリ療養中。

コロナ禍での入院患者の対応は非常に大変だが運よく私が別府に来たことで母親の精神的、物理的支援ができ不幸中の幸いで、何とも不思議な縁を感じている。

大学時代も体育会所属のバスケット部に入部。4年生の時には主将を務め、外部組織との連携や上下関係、試合のコントロールなど色んなことを経験し大人として覚醒した時期であった。

私が就職した昭和63年はバブル真っ只中の売り手市場の時代で、大分大学からみずほ銀行（当時の第一勧業銀行）にでも就職が可能な時代。現に、一緒にバスケをしていた同期の友人がみずほ銀行に就職。

私は地元での就職を決めていましたので当時の別府信用金庫の面接も受けましたが名前が名前（下の名前が豊和）ということで豊和銀行へ入行。

翌年の昭和64年は1月7日に天皇が崩御され元号が変わり、翌月の2月1日には相互銀行から普通銀行へ商号が変わる（いわゆる普銀転換）というビッグイベントが立て続けにあり、新人だった私は訳の分からないままバタバタと最初の年を過ごす。

昭和最後で、相互銀行最後の入行。



当時はまだシステム化が進んでおらず、計算はそろばんを置く時代。

勘定を合わせるのも手作業、現金の合わないこともしばしばあったりと、マンパワーに頼った仕事内容であった。

毎晩帰りは夜中。新入行員の時から店の鍵を持たされて土日出勤は当たり前、これがずっと続くなら銀行員は勤まらないかもしれないなど不安を感じた時代もあった。そんな状況が2年～3年続いたが、徐々にシステム化も進み業務内容も少しずつ改善されていった。

当時は銀行員のステータスも高く若かったこともあり頑張れたような気がする。

入行後は持ち前の負けず嫌いの性格で勉強と経験を積みながら平成17年までは順風満帆な人生であった。

平成18年3月金融庁検査が入ったことで弊行の行員全員が不幸に見舞われる事になる。

大口の回収不能債権が発見され、旧経営陣の経営責任と一部役員の銀行私物化などが明るみになる。

今は決してそのようなことはないが、昔は泣く子も黙る金融庁検査と日銀考査を交互に受けていた。最近ではTVドラマの半沢直樹で有名だが、当時の検査官は冗談抜きでTVの黒崎検査官と同じかそれ以上に恐ろしい人が多かった。

銀行の本店に立ち入ることも、検査期間中に支店に調査に立ち入るのも事前通知が無かったので他行への検査状況など調べたり、金融庁（当時は大蔵省）の担当者を接待（当時ノーパンしゃぶしゃぶが有名）して情報を聞き出す仕事がメインの東京事務所をどの銀行も持っていた時代があった。

私は半沢と同じように本店融資部主任という立場であったが、弊行担当の金融庁チームはウチに来る前に北海道拓殖銀行を破綻に追いやったチームということで人相も言葉遣いも悪く、いくら説明しても聞く耳を持ってくれない、今なら完全にパワハラで訴えられるくらいの人たちであった。

結果として多額の引当金を積まなければならなくなり、過少資本に陥り公的資金の注入を受けることとなった。

その冬のボーナスはゼロ、その後も当然すぐには回復せず現在まで足掛け14年で昔の半分くらいには戻ったのか感じ。

当時は家を売却した行員も少なくなく、20代後半から30代前半の能力の高い行員たちが転職した

ため行員数もかなり減少した。

公的資金を受けると言うことは当然のことながら国が経営に関与するということが当時の頭取・専務も今の頭取・専務も預金保険機構から選ばれた立場である

生え抜きのトップは常務ということになり、公的資金を全額返済しなければ生え抜きの頭取が誕生することはない。

サラリーマンとして会社に入ったからにはいずれはトップを狙いたいと思っていた私にとっては非常に残念な思いであった。

勿論、何年か先に公的資金の返済が終わり生え抜きの頭取が出来るときがくるかもしれないが、少なくとも私の在任中には残念ながら叶わぬ夢であり大きな目標は14年前に失われてしまった。

銀行の支店長は大体どこも55歳で定年を迎える。弊行も昨年までは55歳で役職定年を迎えていたが、最近では若い人材の確保も厳しくなり、ベテランの登用も必要という流れから役職定年の年齢が58歳まで延長になった。

前任の梶原支店長の時までは、別府支店長は大体50歳前から50歳ちょっとで着任し営業店長としては最後のお勤めとなり、55歳前後で本部部長になっていた。

私は今回55歳で着任ということで体力的にも少々きついお勤めになりそうである。今まで以上に緊張感を持って毎日仕事に臨んでいる。

頭取になりたいという野心が無くなってからは今までお世話になった銀行のために後進をしっかり指導するという思いで仕事に臨んでいる。勿論、お客さまへのサービスの質も低下させないように頑張っている。

少しプライベートな話しをさせていただく。

先ほど家族構成で長男が東京の大学に行っていると話したが、青山学院大学で硬式野球をしている。

長男には小学校1年のときから野球をさせており、小中高とそれなりの結果を残している。

高校は大分舞鶴高校でしたが、2年生の秋にある大会で、準決勝で甲子園帰りの明豊高校を9回投げ切り2対0の完封勝利を挙げたことがある。

残念ながら決勝戦は鶴崎工業に2対5で負けてしまったが、今年の夏の大会も舞鶴は決勝まで行くなど近年強くなっている。

これはボウズたちの活躍を見て、舞鶴でも可能性があるという人気が出て、人数も増えたことが良い



結果につながっているようである。

コントロールには絶対の自信があり、スピードがつけばプロもあるのではないかと色気が出て東京の大学野球をさせてみたもの。

東海大相模、関東一校、大阪桐蔭など名だたる高校から集まる東都大学リーグでは、活躍どころかベンチ入りも出来ないのではないかと心配していましたが、1年、2年と何事も無く、やっぱり無理かとあきらめかけた3年生になった去年の春のリーグ戦で、初めてベンチ入りし、初登板した試合でいきなり完封デビューを果たし、通算4勝ほどの結果を残した。

プロはダメでも社会人の硬式野球なら十分に行けるくらいの状況だったので、今年のリーグ戦と就職活動を楽しみにしていたところ今回のコロナに翻弄されることになる。

まず、春のリーグ戦は中止。予定されていた社会人野球のセレクションもほとんどが中止となり、大手企業は見通しの立たない中で採用を最小限に抑える動きとなり行く先がなくなってしまう。

最初はそれなりのところには入社させられるだろうと高をくくっていた大学野球部も、慌てて動いたものの就職先を見つけられずに最終的には普通の就職活動もしてくれと言う始末。

時期も遅くなった関係で大分でもそんなに良いところも残っておらず、A級の軟式野球チームを持っている会社の野球部の監督さんから是非ウチに来て欲しいとお声をいただいたもので、先月一次試験を終わって、それこそ昨日役員面接を受け内定をいただいたところ。

お金が掛かって大変だが、去年はリーグ戦を見て3回東京に行った。今年も最後だから春も秋も2回ずつは行きたいと思っていたところ春は中止、秋も開催は決定したが無観客開催というもの。

10月24、25日にある最終戦は観客を入れるかもしれないということで、それを楽しみにしている。小学校からピッチャーで4番バッターの息子の野球を見るのが私の唯一の趣味で他には特に趣味もないもので、東京に行ってから楽しみが少なくなっていたが、大分に戻って社会人の軟式野球をしてあげればあと10年は楽しめるかなと思っている。

最後に最近の銀行関連のお話を少しさせていただく。

日銀のマイナス金利政策によって現在の銀行の

収益環境は最悪。赤字に陥る銀行がかなり増加。あと2年もすれば115行の銀行の中で半数以上が赤字になるのではないかとされている。

金融再編の波は九州でも起きており大型合併や提携などの動きも。

昨日、自民党総裁となった菅さんが地方銀行は数が多すぎると先週発言し、再編含みで値上がり期待する買いが入り、どの銀行も株価は業況に反して上がるという不思議な現象が起きている。

大分県内の人口は、今後30年40年経過すると70%から60%位にまで低下することが統計で明らかになっていることや、インターネットバンキングの普及やコンビニATMの台頭で銀行に来店されるお客さまは確実に減少していることを踏まえ、現在の県内での、〇銀行、豊和銀行、信用金庫、信用組合という今までの構成はどこかでなくなると思われる。

あと10年なのか20年なのか分からないが自然な形で集約されていくのだろうと思っている。

コロナ禍の現況においては、今現在私どもは国の利子補給のある保証付融資（いわゆるゼロゼロ融資）、その他保証付、プロパーでのコロナ対策応援資金、既存借入金の返済額見直しや据置などのリスケジュールをスピーディーに積極的に対応させていただいている。

その他、各種補助金のご案内などをお手伝いもしている。

まだまだ先の読めない状況が続くので、今のうちになるべく余裕を持って調達していただき、金利負担の発生する3年後に備え、最終的にどのような形に持っていくかという相談に乗っていきたいと考えている。

大事なのは今の調達とこれから先の2～3年であると考えており、お取引先さまにしっかりと寄り添って行くことこそわれわれ銀行員の現在の使命であると認識しております。

ご清聴ありがとうございました。

